



# 長期経営計画

---

2022年7月29日

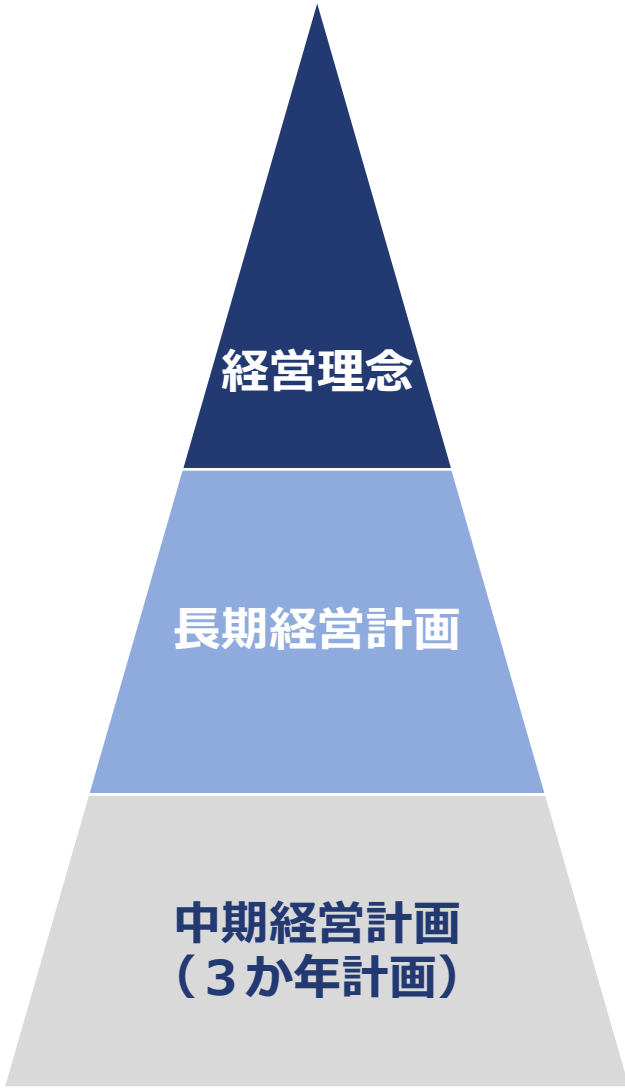
京成電鉄株式会社

A thick, dark blue horizontal bar at the bottom of the page, with a slight upward curve on the left side.

# 長期経営計画Dプラン

京成グループの更なる「発展」を期すとともに、事業を「力強く」また「革新的」に「日々」推進することを目指し、「Development」、「Dynamic」、「Drastic」、「Day by Day」の意味を込めて「Dプラン」とした。

# 本計画の位置付け①



## 経営理念

### グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

### 長期経営計画

**グループビジョン**及び**グループ長期経営課題**により構成

- **グループビジョン**：京成グループの将来のありたい姿
- **グループ長期経営課題**：現状・将来分析、経営環境分析を踏まえた京成グループの長期的課題

### 中期経営計画

- 長期経営計画に基づき事業戦略、数値目標を設定

## 中期経営計画 (3か年計画)

## 長期経営計画（2022～2030）

グループ  
長期経営課題



グループビジョン

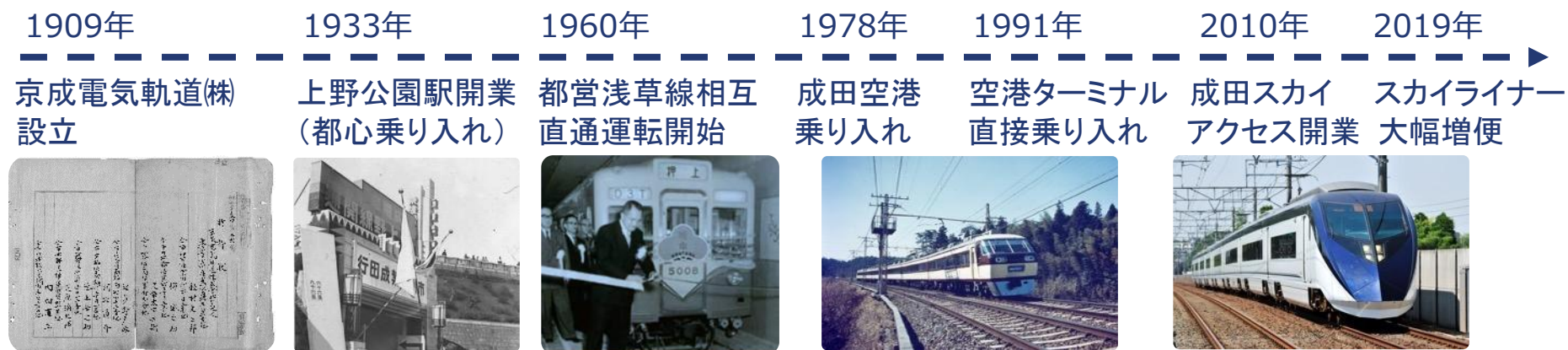
## 中期経営計画（3か年×3期）

第1期（2022～2024）

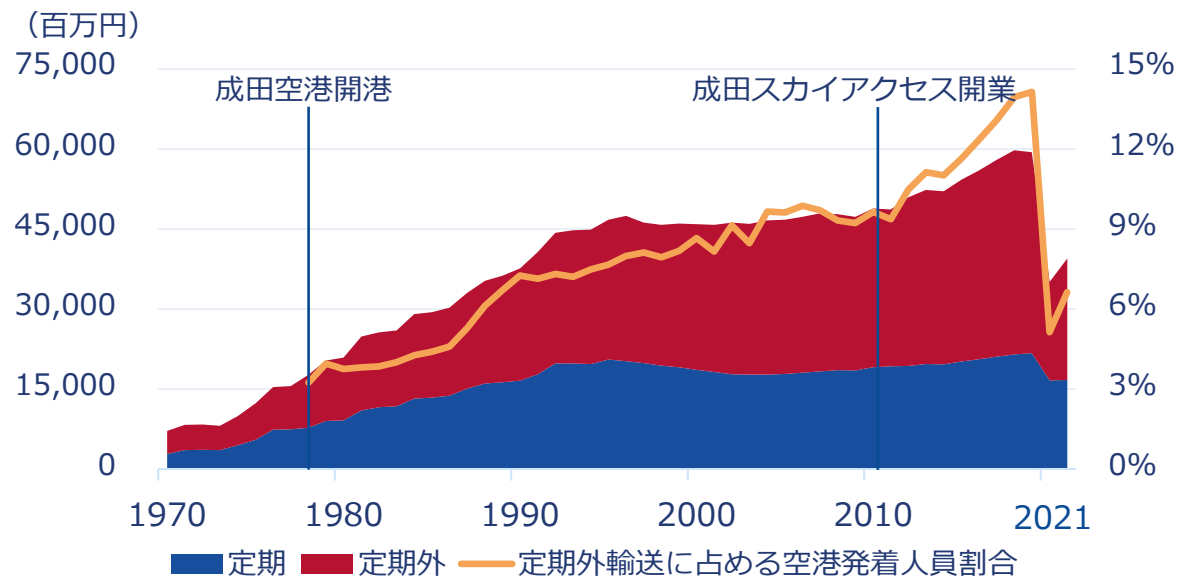
第2期（2025～2027）

第3期（2028～2030）

## 京成グループのあゆみ



## 鉄道運賃収入（京成電鉄単体）の推移



**成田空港開港以降、空港輸送強化に注力**

**1978年 成田空港開港**

**2010年 成田スカイアクセス開業**

**2019年 スカイライナー大幅増便**

## 長期経営計画期間（2022～2030年）の位置付け

### ～前長期経営計画期間（Eプラン）

- ・ 成田空港輸送に経営資源を優先的に投下し、大きく事業成長

**コロナ禍による事業環境の変化**  
（訪日外国人の激減・生活様式の変化等）

### 新長期経営計画期間

- ・ 沿線をはじめとする地域社会のサステナビリティ実現に貢献
  - －豊かで健康的な暮らしの場の創出
  - －沿線観光の振興
- ・ 成田空港輸送への注力は継続し、空港機能の強化に貢献

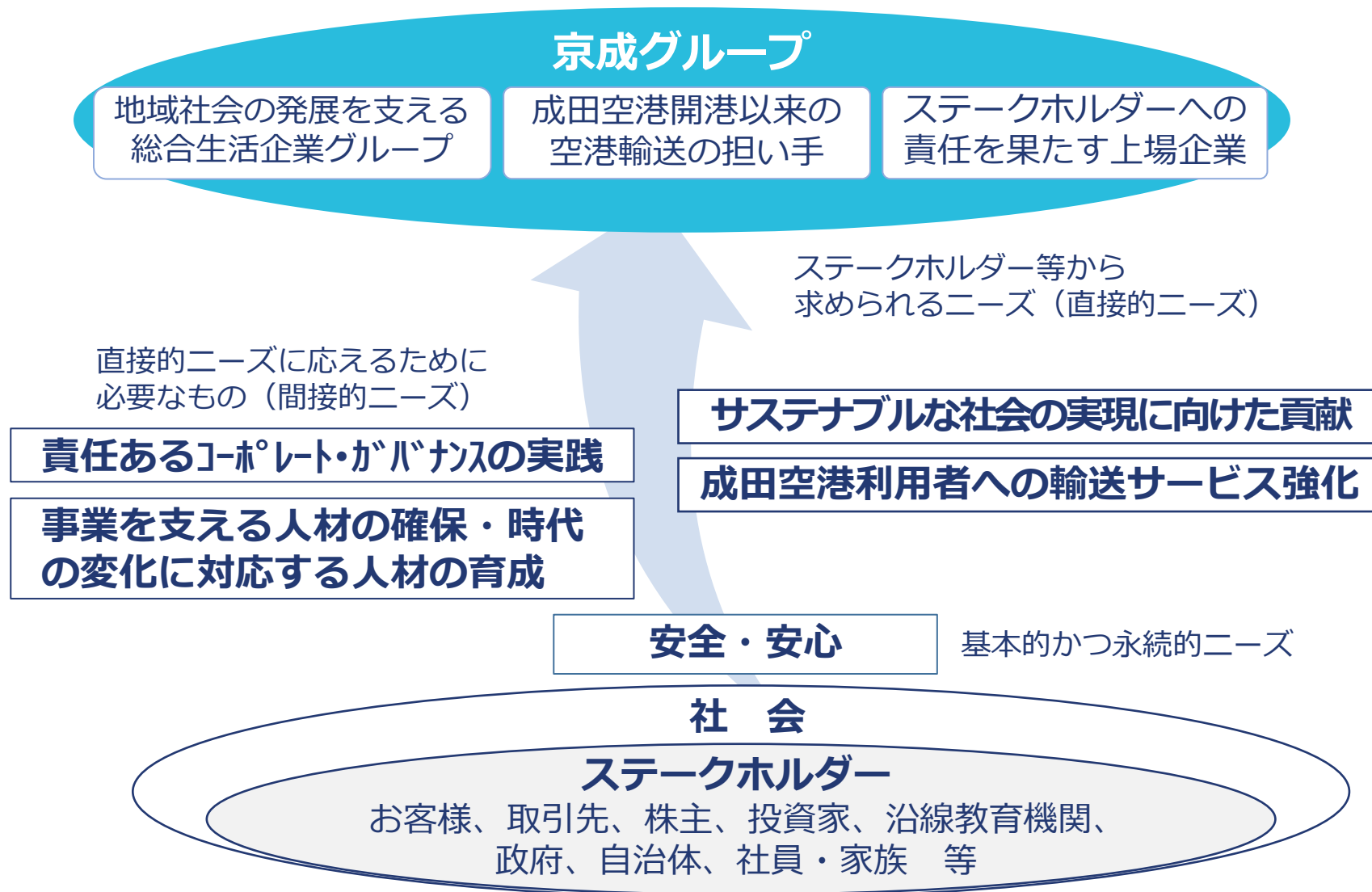
# 前提条件（環境認識①）

## 京成グループを取り巻く環境

|          |                                               |
|----------|-----------------------------------------------|
| 沿線人口     | 新たな人の動きが発生                                    |
|          | 日本全国で人口減少が進み、コロナ禍の影響もあり出生率の低下が加速              |
|          | 他方、働き方の多様化等により、都心から郊外への人口転移が発生                |
| 成田空港     | N A A 目標は2030年に年間旅客数6,000万人、発着回数40万回          |
|          | 成田空港の更なる機能強化に向けた取り組みは着々と進捗                    |
|          | コロナ禍収束後の爆発的な需要回復を期待                           |
| I T ・ 技術 | テクノロジーの飛躍的な進歩とそれによるDX（デジタルトランスフォーメーション）の進展    |
|          | 自動運転等の運輸交通事業における各種技術革新の更なる進展                  |
|          | D X の進展に伴う輸送サービスのシームレス化が加速                    |
|          | キャッシュレス決済・Eコマース等の生活様式の変化はコロナ禍で加速              |
| 労働力      | 人口減少による更なる国内労働力不足の進行                          |
|          | 高齢者雇用の拡大、外国人労働力受け入れ等による労働市場の多様化               |
|          | I T を活用した業務効率化（自動化・無人化）の進展                    |
| 環境・社会    | サステナビリティに関する企業の取り組み加速                         |
|          | サプライチェーンを含めたS D G s、E S G への取り組みや情報開示が実質的に義務化 |
|          | 2050年のカーボン・ニュートラル実現に向けたエネルギー転換等の進行            |
|          | 自然災害、感染症等による事業リスクの増大                          |

# 前提条件（環境認識②）

## 京成グループに求められるニーズ





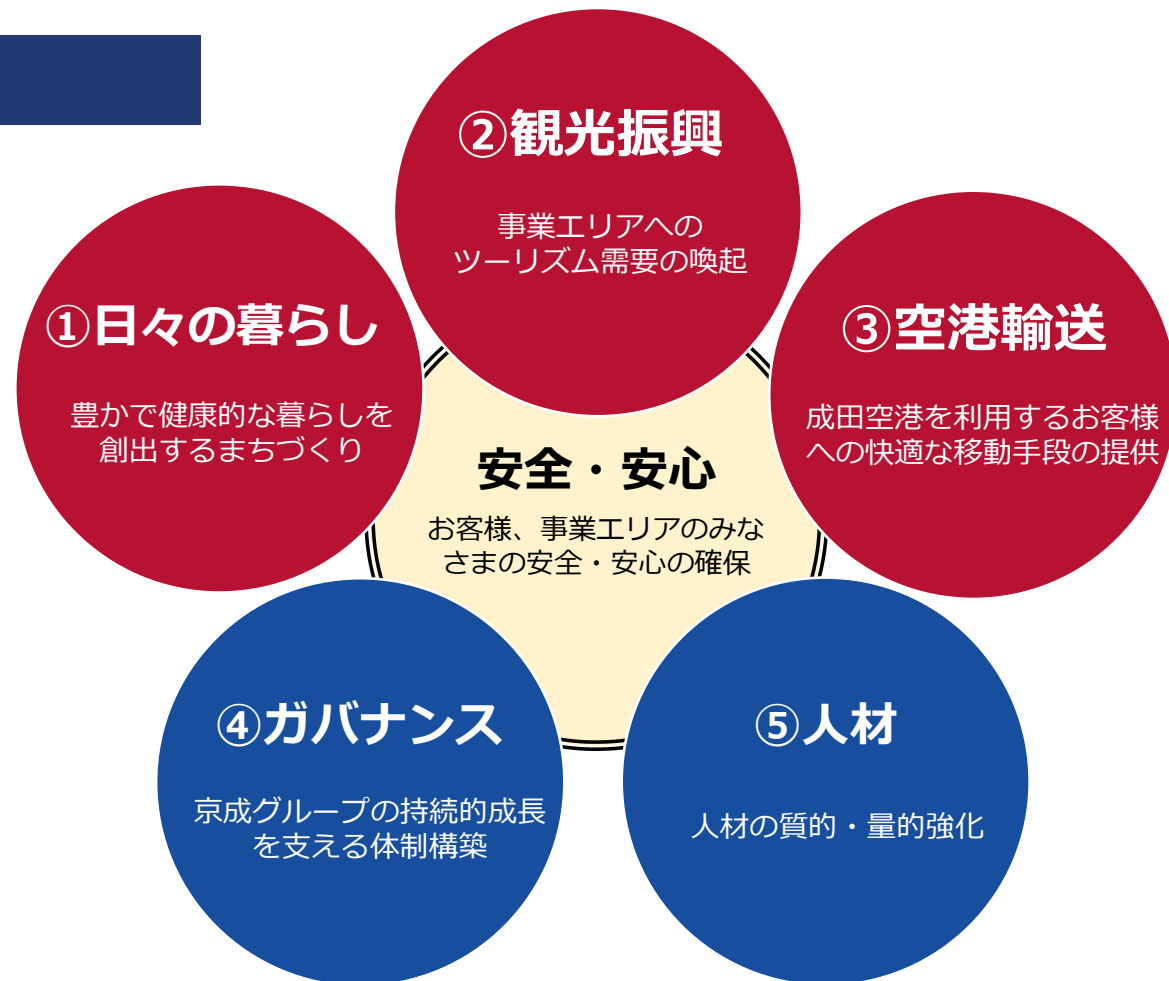
## 2030年のグループビジョン

京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する

### 長期経営課題

ビジョン実現に  
向けた方向性

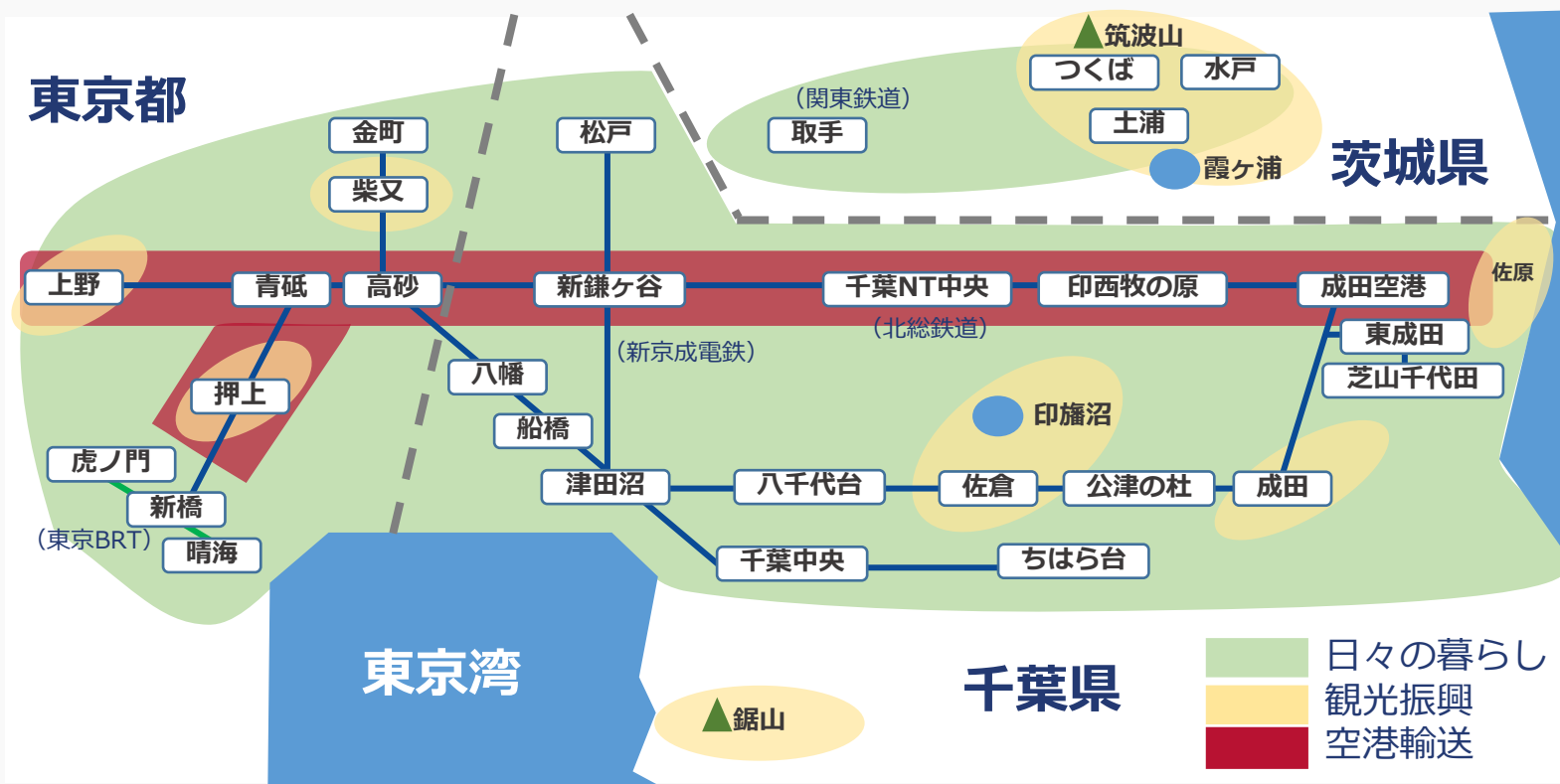
ビジョン実現の  
ための基盤整備



# 京成グループの事業エリア

## 既存エリア

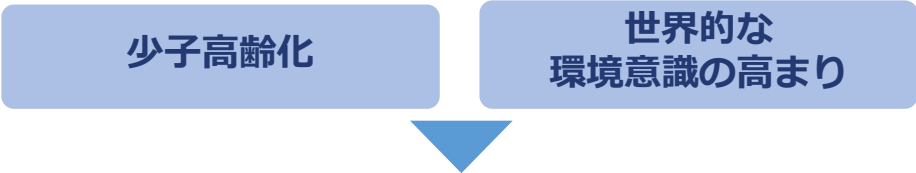
各エリアの特性に応じた事業運営を展開し、京成グループの地盤を強固にしていく。



## 新規エリア

既存エリアに捉われず、シナジーが発揮できるエリアへの事業展開を検討する。

求められるニーズ



地域社会のサステナビリティ実現のためのサポート

ミッション

|           |                                             |
|-----------|---------------------------------------------|
| 京成グループの立場 | 地域社会の発展を支える総合生活企業グループとして、                   |
| 取り組み      | 自治体等と連携し、人と環境に優しい鉄道を軸に、                     |
| 成し遂げたいこと  | 地域の営みを支えるまちづくりを通じ、あらゆる世代にとって豊かで健康的な暮らしを創出する |

重点施策



求められるニーズ

訪日外国人客の  
中長期的な増加

事業エリア内に  
観光資源が点在

事業エリアにおける更なる観光振興

ミッション

京成グループの立場

取り組み

成し遂げたいこと

観光地への輸送サービス等の提供者として、  
事業エリア内での魅力ある旅の機会を提供し、  
地域社会の活性化に貢献する

重点施策

既存観光エリアの  
魅力向上

新たな観光資源や  
ルートの開発



## 求められるニーズ

政府・企業による  
SDGs・ESG  
の取り組み加速

株主・投資家  
からの要望多様化  
(財務・非財務面)

責任あるコーポレート・ガバナンスの実践

## ミッション

グループ経営推進体制の最適化を図るとともに、ステークホルダーに対する責任を果たし、健全で持続可能な企業成長を目指す。

## 重点施策

環境・社会に関する  
情報開示の充実

健全な財務体質  
の維持

コーポレート・  
ガバナンスの強化

## 求められるニーズ

労働力不足の進行

将来における  
不確実性の増大

事業を支える人材の確保、時代の変化に対応する人材の育成

## ミッション

多様な人材の登用、挑戦する人材の育成を通じ、人材の質的・量的強化を図る。

## 重点施策

ダイバーシティ  
の推進

チャレンジする  
人材の育成

## 求められるニーズ

自然災害の激甚化

労働力不足

テクノロジーの進歩



安全・安心の追求

## ミッション

災害対策や確実な技能伝承を通じ、公共交通の使命である「安全・安心」を確保する。

## 重点施策

災害対策の強化

お客様の安全を守る  
取り組みの強化

テクノロジー  
の活用



# 京成グループの事業成長

長期経営課題を着実に達成し、お客様や社会に貢献することを通じ、持続的成長を実現

| 長期経営課題 | 強化される内容                                      | 関連するSDGsの17の目標                                                                                                                                              |
|--------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日々の暮らし | “第2の柱”としての不動産業の事業基盤拡充、及び日常運輸業・流通業等における競争力の強化 | 1:貧困をなくそう 2:飢餓をゼロに<br>3:健康と福祉 6:安全な水とトイレ<br>7:エネルギーをクリーンに<br>9:産業と技術革新の基盤<br>11:住み続けられるまちづくり<br>12:つくる責任 使う責任 13:気候変動対策<br>14:海の豊かさ 15:陸の豊かさ<br>17:パートナーシップ |
| 観光振興   | 運輸業及びレジャー・サービス業等の事業基盤拡充                      | 7:エネルギーをクリーンに<br>9:産業と技術革新の基盤 17:パートナーシップ                                                                                                                   |
| 空港輸送   | 成田空港輸送における確固たる地位の確立                          | 7:エネルギーをクリーンに<br>9:産業と技術革新の基盤 17:パートナーシップ                                                                                                                   |
| ガバナンス  | 社会の変化に対応した最適なコーポレート・ガバナンスの実現                 | 9:産業と技術革新の基盤<br>16:平和と公正                                                                                                                                    |
| 人材     | 時代の変化に対応した人的資本の確保                            | 3:健康と福祉 4:質の高い教育<br>5:ジェンダー平等 8:働きがいも経済成長も<br>10:人や国の不平等をなくそう                                                                                               |
| 安全・安心  | 地域社会の生活や産業を支える揺るぎない安全・安心の確立                  | 9:産業と技術革新の基盤<br>11:住み続けられるまちづくり<br>13:気候変動対策                                                                                                                |